2026 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 オムロン株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 辻永 順太
コード番 号 6645
上場取引所 東証プライム市場
問 合 せ 先 グローバル理財本部 財務グループ長
櫻井 斉
T E L 075-344-7147

剰余金の配当（中間配当）の決定および期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日（2026 年 11 月 10 日）開催の取締役会において、2026 年 9 月 30 日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）および 2027 年 3 月期の期末配当予想の修正について下記のとおり決議しましたので、お知らせします。

記

1．剰余金の配当（中間配当）の決定の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (2026 年 5 月 13 日公表)	前 期 実 績 (2026 年 3 月期中間配当)
基 準 日	2026 年 9 月 30 日	同左	2025 年 9 月 30 日
1 株当たり配当金	55 円 00 銭	−	52 円 00 銭
配当金の総額	10,855 百万円	−	10,263 百万円
効力発生日	2026 年 12 月 2 日	−	2025 年 12 月 2 日
配 当 原 資	利益剰余金	−	利益剰余金

2．期末配当予想の修正の内容

	1 株当たり配当金		
基 準 日	第 2 四半期末	期 末	年 間
前回発表予想 (2026 年 5 月 13 日発表)	−	−	110 円 00 銭
今回修正予想	−	55 円 00 銭	110 円 00 銭
当 期 実 績 (2027 年 3 月期)	55 円 00 銭	−	−
前 期 実 績 (2026 年 3 月期)	52 円 00 銭	52 円 00 銭	104 円 00 銭

３．理由

剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想は当社のキャッシュアロケーションポリシーおよび株主還元方針に沿って決定することとし、年間配当予想は期初予想の 110 円から変更していません。また、中間配当および期末配当予想は、それぞれ年間配当予想の半額の 55 円としました。

＜キャッシュアロケーションポリシー＞

①中長期的視点で新たな価値を創造するため、事業投資に軸足を置いた資源配分を実行します。持続的な成長を支える注力事業への投資を最優先し、特に最注力ドメインである制御機器事業領域への投資を強化します。

②そのうえで、安定的・継続的な配当に加え、当社グループの将来の資金需要、業績水準、株価水準、財務状況などを総合的に勘案し、自己株式の取得を機動的に実施します。

③投資や株主還元の原資は、内部留保や持続的に創出する営業キャッシュ・フローを基本としつつ、M&Aの実行においては外部資金調達も積極的に活用します。なお、金融情勢によらず資金調達を可能とするため、引き続き財務健全性の確保に努めます。

＜株主還元方針＞

①中長期視点での価値創造に必要な投資を優先した上で、毎年の配当金については、「株主資本配当率（DOE）３％程度」を基準とします。そのうえで、過去の配当実績も勘案して、安定的、継続的な株主還元に努めます。

②上記の投資と利益配分を実施したうえで、さらに長期にわたり留保された余剰資金については、機動的に自己株式の買入れなどを行い、株主の皆さまに還元していきます。

以上